

フェアを通して宮崎の水産物を全国にPR



CONTENTS

特集 第5回 海幸彦-UMISACHIIHIKO-

FISHING POLITICS

漁政

第8回漁政対策委員会

平成22年度県かつ 第1回役員会

平成22年度県かつ 通常総会

宮崎県小型底曳網漁業者協議会

宮崎県延縄漁業者協議会

第3回カツオ資源問題検討会

全漁連会長との意見交換会

平成21年度宮崎県漁業担い手確保育成推進協議会

宮崎県漁業就業者確保育成センター

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

漁協通常総会・総代会

BUSINESS

業務情報

県外系統石油積込体制の推進

給油岸壁工事完了

初かつおフェア

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

平成21年度第6回理事会

人事異動

平成21年度決算監査

アサヒビール(株)がスタンプラリーをバックアップ

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

水産試験場からのお知らせ

平成22年度県関係人事異動

3月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

宮崎県漁協青壮年部

連絡協議会役員会

旋網組合総会

3月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

有限会社丸栄水産
代表取締役

大野隆由氏



有限会社 丸栄水産 (申間市)

宮 崎県の最南端、西に志布志湾を望む福島港。福島川河口から港へと続く景色に空を駆けるような福島大橋がダイナミックな景観を作り出しています。その向こうははるか太平洋の大海原。河口の入り江に持ち船が停泊し、その岸壁に社屋をもつ丸栄水産は、カンパチ養殖のエキスパート。国内でのカンパチ養殖の先鞭をつけた会社です。穏やかな海を眺めながら、代表取締役社長の大野隆由さんにお話を聞きました。





◎ 今月の海幸彦

有限会社 丸栄水産 代表取締役 大野隆由氏

■カンパチの養殖はいつごろから行われているんですか？

最初は昭和58年頃からです。国内で先駆けてカンパチの養殖を始めたのが当社です。丸栄水産はカンパチの養殖をするために、平均水温が16度以下にならない串間に設立しました。昭和63年の設立以来カンパチの養殖一筋です。

■カンパチはどうやって育てるんですか？

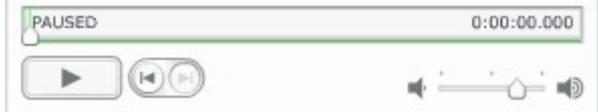
まず、稚魚は中国から輸入します。現在、日本の養殖カンパチは約99%が中国からの天然稚魚です。私は、稚魚の輸入から立ち会い、自社の活魚輸送船で運んできます。この方法は当社だけのやり方です。

稚魚は、沖合の50~60mに沈めた生け簀で、たびたび選別を行いながら、出荷まで約2年間育てます。出荷の際、スタッフが「家族と別れるような気持ち」と言うほどです。

■技術だけでなく、心をこめて育てているんですね。

そうですね。先代の社長が「魚が何を望んでいるか、何に苦しんでいるか、理解してあげなさい」とよく言っていました。ひとつの生け簀には4000尾から5000尾が入っていて、給餌はもちろん、ストレスや病気で弱っていないか、常に目配りしています。見学を訪れる人たちが、当社のスタッフの目、技術に関心して行かれますよ。

私たちは、稚魚から育成、出荷まで、単なる養殖業者ではなく「食品業者」であるという一貫した考えで養殖に取り組んでいます。安心、安全は当たり前のことで、そこをクリアしてさらにおいしい魚を提供したいと思っています。おいしい魚＝健康な魚です。



Yoshimoto Decorative Arts
<http://www.yoshimotokougei.co.jp>

心 茂 美

- ・ 屋内外総合広告看板
- ・ カッティング切文字制作
- ・ インクジェット出力
- ・ レーザー彫刻
- ・ イベント会場デザイン制作
- ・ ディスプレー

〒880-0852 宮崎市高洲町51-4
Tel:0985-25-2971 Fax:0985-27-4144

 吉本工芸有限会社



海幸彦
インタビュー
ビュー

■健康な魚を育てる工夫を紹介してください。

例えば、エサも冷凍生エサに配合飼料、サプリメントを混ぜて粒状にした上質のモイストペレットを使います。病気が出ると薬を使わなくてはならないので、サプリメントを使いながら病気にさせないようにします。またモイストペレットは生エサに比べて環境への負荷が少ないんです。きれいな水も健康に育てる条件ですし、海を守ることも私たちの使命です。それから、カンパチは泳ぐ速度が遅いので、ハダムシなど皮膚に寄生虫が付くことがあります。この駆除には真水を使います。大きな水槽で数分間泳がせると、寄生虫を駆除することができるんです。大変な作業ですが、1日に15台(4000~5000尾×15台)ぐらいやりますよ。薬は主に稚魚の時に使います。その場合も、規定より遙かに長い休薬期間を設け、出荷前は100~250日以上薬を使わないようにしています。これは私たちのモラルだと考えます。



■カンパチといえば刺身ですが、新しい食べ方も提案されているそうですね。

3~4kg程度のサイズが揃った養殖カンパチは、飲食店などから刺身として味が良く、大変使いやすいと好評をいただいています。やはり刺身がおいしいので、生を食べてもらいたいのはもちろんですが、新しい食べ方も少しずつ開発中なんです。当社では干物や、桜チップを使って旨味を引き立てた燻製「火照燻(ほでりくん)」、スモークサーモンのような「火照冷燻かんぱち」などを作っています。

■これからの意気込みをお願いします。

串間の漁場は宮崎県の漁場ランクで最高のAランク。このきれいな海を守って、魚の気持ちになって健康なカンパチを育てる。このこだわりを貫きながら、食べて感動してもらえる「丸栄水産のカンパチ」を提供したいと日々努力しています。



宮崎県漁政対策委員会

宮 崎県漁政対策委員会(会長 丸山英満)は去る3月16日、第8回漁政対策委員会を開催した。
協議内容は下記の通り

(1) 平成22年度佐多対空射場水域設定について

(2) その他

引き続き佐多対空射場水域設定事前協議を開催し、期間・水域について例年通りの内容で承認された。

平成22年度 県かつ第1回役員会

宮 崎県かつお・まぐろ漁業者協会(会長 丸山英満)は、3月11日、南郷漁協において第1回役員会を開催した。
協議事項は、平成22年度通常総会提出議案として、

1. 平成21年度事業報告書及び収支決算書の承認について
2. 平成22年度事業計画書及び収支予算書(案)の承認について
3. 平成22年度賦課金の額及び徴収方法の決定(案)について
4. 役員補充について

を審議し、原案どおり提出することで決定した。

また、沖縄周辺海域における浮魚礁の設置及び漁船マルシブ制度対策協議会のジャカルタ開催について説明を行った。

平成22年度 県かつ通常総会

宮 崎県かつお・まぐろ漁業者協会(会長 丸山英満)は、3月31日、めいづ漁民センターにおいて平成22年度通常総会を開催した。協議事項として、

1. 平成21年度事業報告書及び収支決算書の承認について
2. 平成22年度事業計画書及び収支予算書(案)の承認について
3. 平成22年度賦課金の額及び徴収方法の決定(案)について
4. 役員補充について

を審議し、原案どおり承認決定した。

また、沖縄周辺海域における浮魚礁の設置について現状報告を行った。

宮崎県小型底曳網漁業者協議会 宮崎県延縄漁業者協議会

3 月29日、水産会館5階大研修室において平成21年度宮崎県小型底曳網漁業者協議会及び宮崎県延縄漁業者協議会が開催された。

小型底曳網漁業者協議会では、小型底曳網漁業包括的資源回復計画について協議が行われ、平成22年度も継続して取組むことで承認された。

延縄漁業者協議会では、トラフグについては、平成22年度は禁漁期間を15日間前倒しすることを承認し、4月15日から8月を禁漁とすることとした。アマダイについては、活き餌の使用禁止意外に各地域毎において、新たな資源管理措置として取組む事が出来るものがないか、持ち帰り検討することとした。カサゴ資源回復計画については第2期計画の取組について承認された。

日本近海に來遊するカツオ資源問題を真剣に協議 — 第3回カツオ資源問題検討会 —

平 成22年3月4日に、東京都三田共用会議所において、水産庁、研究者、関係団体、漁業者約50名が参加し第3回カツオ資源問題検討会が開催され、本会からは船主2名と事務局1名が出席した。

まず、全近かつ協より、日本近海に來遊するカツオが減少している。漁業現場では、昨年に続き不漁ではないかと心配している。カツオは日本人にとってなじみ深い魚である。カツオ資源の計画的な調査や、中西部海域のカツオ調査を実施してもらい、日本近海に來遊するカツオ資源の関連を明らかにしてもらいたい。また、カツオの持続的利用について、何が出来るか真剣に協議してもらいたいと提案。

各漁業団体からも資源の減少については深刻な状況であるとの報告があり、特に赤道海域での漁獲圧の増大が來遊資源に大きな影響を与えているのではないかと指摘があった。

研究者からは、カツオ資源を重く受け止めている。4月から研究員を増加し取り組む。WCPFCに対応できるよう、釣りの努力量を資源評価に反映できるようデータの解析を行っている。日本近海の不漁、來遊の源がどこにあるのか明確にするため、中南、薩南海域での放流調査を行うとの報告が行われた。

水産庁からは、科学者はカツオ資源は良好といっているが、現実とずれがある。今年どのようなことが出来るか考えてもらいたい。業種間でのトラブルは減っていない。漁場でどのような協力が出るか。漁場情報の共有や集中水揚げを避けるとともに、漁場でのトラブル回避を図るため連絡体制がとれるよう意思の疎通を図りたい。総量規制については継続審議としたい。かつおが居なくなって困っているのは日本だけ。WCPFCの会議の中で、どこをたたき、どこを減らすか圧力をかけていくが、国際会議であり時間が掛かる。今何が出来るか継続して検討を続けていくことを確認し、6月頃に次の資源検討会を開催することになった。

全漁連会長との意見交換会

3 月22日、南郷漁協において全漁連服部会長をはじめとする全漁連役員と日南市漁協、南郷漁協、栄松漁協、外浦漁協所属のカツオー本釣り・マグロ延縄漁業者との意見交換会が開催された。服部会長は挨拶の中、「漁獲量の減少や魚の小型化からカツオー本釣り漁業の経営は危機的状況にあると認識している、本日は深刻な漁業生産現場の生の声をお聞きしたい」と述べられ、意見交換会に入った。漁業者からは、燃油の問題、近代化資金の償還期限の延長、資源の問題、魚価対策等の意見や質問が生まれ活発な意見交換となった。



写真提供：JF全漁連

平成21年度 宮崎県漁業担い手確保・育成推進協議会

平成22年3月24日に県庁において、宮崎県漁業担い手確保・育成推進協議会が開催された。

県水産政策課より、漁業就業者の現状として平成15年から20年にかけて389人減少しており3,360人となっている。また60歳以上の男性の漁業就業者は男性全体の36%を占め、年々高齢化が進んでいることが説明された。新規就業状況については、平成12年の71人をピークに、他産業からの転入による増減はあるものの新規就業者は減少傾向にあること等の説明がなされた。

漁業就業者確保育成センターの実績では、問い合わせ件数は31件で、平成19年度までは20代が多かったが、20年以降30～40代にシフトしてきていることが説明された。

また、海洋高校漁業実務体験研修、漁村・漁業体験短期研修、漁業士・漁村女性指導士の認定、漁業士の研修等の実績が報告された。

委員からは、新規に雇用する際、高等水産研修所で研修を積むなどのスキルアップされた方の方が、雇用しやすくなるとの意見もだされた。

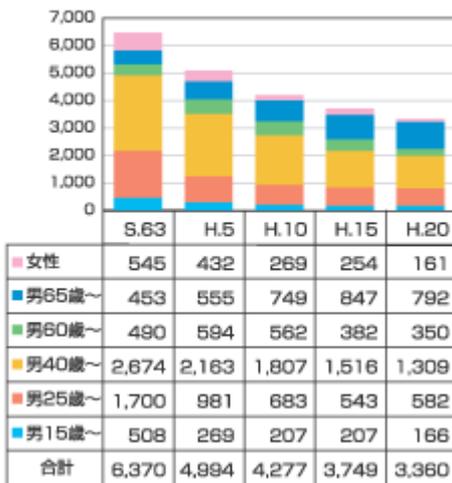


図1 漁業者就業数の推移

宮崎県漁業就業者確保育成センター



これまで、センター業務は県漁連指導部で行っていたが、4月1日より、専任の相談員を県立高等水産研修所(日南市)内に設置した。

専任ポストを配置することで、就業・求人情報の収集を積極的に行い、新規就業希望者に対する研修などについて高等水産研修所との緊密な連携が図られることとなった。

今後の問い合わせ先は、宮崎県漁業就業者確保育成センター:(080)1791-6111若しくは県立高等水産研修所:(0987)22-2058まで。

平成21年度通常総会・総代会

12月決算組合の平成21年度通常総会・総代会が一堂に開催され、平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画等の提出議案を審議し承認決定した。
組織及び概況は次の通り。

1. 檜浜漁協通常総会(3月19日)

組合員数	正組合員27名	准組合員23名
購買事業の取扱高	2,043万円	

2. 都農町漁協通常総会(3月23日)

組合員数	正組合員60名	准組合員53名
信用事業の貯金高	7億1,988万円	
購買事業の取扱高	3,960万円	
販売事業の取扱高	2億1,970万円	

3. 日南市漁協通常総会(3月25日)

組合員数	正組合員192名	准組合員76名
信用事業の貯金高	23億9,356万円	
購買事業の取扱高	8億9,324万円	
販売事業の取扱高	51億0,147万円	

4. 北浦漁協通常総代会(3月26日)

組合員数	正組合員450名	准組合員129名
信用事業の貯金高	39億3,264万円	
購買事業の取扱高	3億7,051万円	
販売事業の取扱高	40億1,145万円	

5. 延岡漁協通常総会(3月26日)

組合員数	正組合員46名	准組合員60名
信用事業の貯金高	7億3,204万円	
購買事業の取扱高	3,753万円	
販売事業の取扱高	1億8,262万円	



6. 延岡市漁協通常総会(3月26日)

組合員数	正組合員160名	准組合員51名
信用事業の貯金高	24億4,049万円	
購買事業の取扱高	1億0,186万円	
販売事業の取扱高	22億6,138万円	

7. 日向市漁協通常総会(3月26日)

組合員数	正組合員300名	准組合員54名
信用事業の貯金高	32億1,805万円	
購買事業の取扱高	5億1,554万円	
販売事業の取扱高	23億8,184万円	

8. 川南町漁協通常総会(3月27日)

組合員数	正組合員273名	准組合員118名
信用事業の貯金高	20億5,381万円	
購買事業の取扱高	3億3,524万円	
販売事業の取扱高	23億5,487万円	

9. 門川漁協通常総会(3月29日)

組合員数	正組合員63名	准組合員30名
信用事業の貯金高	8億3,069万円	
購買事業の取扱高	6,013万円	
販売事業の取扱高	2億9,225万円	

10. 島浦町漁協通常総代会(3月30日)

組合員数	正組合員277名	准組合員21名
信用事業の貯金高	25億5,450万円	
購買事業の取扱高	5億1,362万円	
販売事業の取扱高	29億4,531万円	

11. 庵川漁協通常総会(3月30日)

組合員数	正組合員88名	准組合員41名
信用事業の貯金高	12億9,812万円	
購買事業の取扱高	1億7,198万円	
販売事業の取扱高	7億3,276万円	

♪海とっしょに 浜とっしょに♪

元気に暮らそう JF 共済

子こくろし かせい かんこ

ねんきん がんこ ながさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosuiren.or.jp>

県外系統石油積込体制の推進

去る3月25日～26日の2日間、鹿児島県における系統石油積込に伴う系統代行店との打ち合わせを目的に、JF全漁連担当者と共に推進した。

一日目(3/25)

(1)枕崎市漁協

まず、本県船が水揚げする荷捌施設を視察。面する岸壁には、本県船へ積込する給油船2隻(第21・28協洋丸)が停泊していた。

(2)JF全漁連枕崎油槽所

JF枕崎市と同じ港湾に位置しており、A重油タンク2基(容量7,000KL・3,000KL)、給油施設、潤滑油倉庫などを事業所担当者同行の下視察。

二日目(3/26)

(1)山川港系統石油積込店恒吉石油(株)

恒吉石油(株)の事務所と対岸に位置するA重油タンク(600KL)を視察。ここでA重油を受入し、バージ船に給油している。次に、内港・外港の荷捌施設を視察した。

(2)鹿児島県漁連

鹿児島港に位置する鹿児島漁連購買課事務所を訪問し、購買担当者に挨拶。

今回、本県船が実際に積込みする作業現場を視察することは出来なかったが、各利用施設を視察し、有意義なものとなった。

今回の視察推進を生かし、県外地区における積込体制がより円滑に遂行できるようにしていきたい。

今後とも系統石油積込へのご理解ご協力お願い致します。

給油岸壁工事完了

漁連の北浦事業所給油施設岸壁の老朽化に伴う県北部港湾事務所による改修工事が完了しました。

これに伴い工事期間中に隣接岸壁に設置しておりました仮設の給油施設を撤去し、改修工事を終えた従来の岸壁に施設の移設工事が完了しております。

今後とも同施設のご利用をお願い致します。



改修工事が完了した給油施設の全景

人と自然との調和

粒状粉石けん
コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

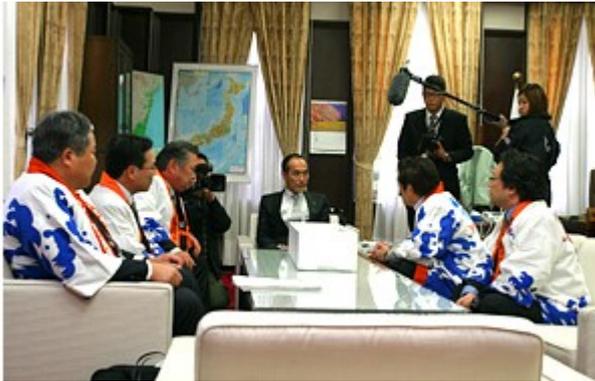


S
S
E
Z
S
D
B

初かつおフェア

今年で第5回を迎える宮崎初かつおフェアが4月2日（金）から4月30日（金）までの約1ヵ月間、県内の鮮魚店、スーパーマーケット、料理店、県漁連・漁協の直営店等約150店舗の協賛で開催されました。フェア開始当日には、宮崎中央卸売市場セリ場にて水産業関係者約200名が見守る中、午前5時45分からのぼり配布式が執り行われ、フェア実行委員会下野会長（株）中央魚類が開催宣言、続いて「いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会」丸山会長（県漁連）があいさつ、宮崎県魚市場連合会永谷会長から買参人組合太田理事長、仲卸組合田中理事長に「初かつおフェア」ののぼりが配布されました。

また、午後2時から下野会長・丸山会長は東国原英夫宮崎県知事を表敬訪問し、「初かつおフェア」の取り組み等を報告し、PR用の記念撮影を行いました。なお、今回は県外客へのPRとして、JR九州の「海幸山幸」及び宮崎空港ビルお食事店等5店舗の協賛を得て、県外の皆様にもおいしい「宮崎初かつお」をご賞味いただきました。



平成21年度第6回理事会

漁 連では、3月24日(水)水産会館第1中研修室において、平成21年度第6回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

報告事項

1. 漁協経営改善事業計画策定事業(販売事業改革)の結果について
2. 平成21年度2月末実績について
3. 内部監査の結果について
4. 人事異動について
5. コンプライアンスプログラムの進捗状況について
6. その他

附議事項

- 第一号議案 平成21年度取扱及び決算見通しに関する件
- 第二号議案 専務理事の辞任に関する件
- 第三号議案 参事への専務理事職務代理に関する件
- 第四号議案 平成22年度取扱及び収支計画に関する件
- 第五号議案 理事の利益相反に関する件
- 第六号議案 諸規程の改正に関する件
- 第七号議案 運転資金の借り入れに関する件
- 第八号議案 石油類の価格改定に関する件
- 第九号議案 新運動方針に係る将来シミュレーション結果に関する件
- 第十号議案 JF経営指導宮崎県委員会設置要領(案)に関する件

人事異動

◎平成22年4月1日付

氏名	新	旧
甲斐 俊光	業務部長、販売課長事務取扱	業務部長
長友 和久	業務部次長、購買課長事務取扱	業務部次長、購買課長事務取扱宮崎事業所長兼務
阪元 和輝	指導部次長	指導部次長、漁政課長事務取扱
西山 孝則	指導部指導推進課長、部次長待遇	業務部販売課長、部次長待遇
久保 一好	総務部庶務課長、部次長待遇	指導部指導推進課長、部次長待遇
阿満 泰利	指導部漁政課長	総務部庶務課長
迫田健一郎	業務部販売課長補佐	業務部ぎょれん丸課長補佐
中尾 英樹	総務部監理課長補佐	総務部監理課係長
樹 和彦	指導部漁政課長補佐	指導部漁政課係長
谷口 基	指導部漁政課長補佐	指導部漁政課係長
河野桂二郎	業務部販売課係長	業務部販売課職員
日高 大輔	総務部経理課係長待遇	総務部経理課職員
倉尾 恭太	業務部購買課係長待遇	業務部購買課職員
岩下 一郎	延岡支所次長	日南支所課長補佐待遇
塩月 睦成	延岡支所課長補佐待遇	延岡支所係長
木原 明彦	宮崎事業所長、宮崎製氷工場長兼務	宮崎製氷工場長



平成21年度決算監査

漁 連では、棚卸監査を4月1日から2日にかけて実施し、決算監査を5月17日から21日にかけて実施する。監査は、3名の監事により、財務の状況及び事業の状況並びに予算統制等について執行される。

1. 監査基準日 平成22年3月31日
2. 会計監査(棚卸品、現金預金)担当、事業所及び日程
3. 運営・会計検査(棚卸品、現金預金を除く)担当、事業所及び日程

担当	事業所名	実施日程
谷口監事	北浦事業所 土々呂製氷工場 延岡支所	平成22年4月1日(木)
		平成22年4月2日(金)
		平成22年4月2日(金)
溝口監事	本所 宮崎事業所	平成22年4月1日(木)
		平成22年4月1日(木)
近藤監事	南郷事業所 日南製氷第二工場 日南製氷第一工場 日南支所	平成22年4月1日(木)
		平成22年4月1日(木)
		平成22年4月2日(金)
		平成22年4月2日(金)
		平成22年4月2日(金)

担当	事業所名	実施日程
谷口監事	北浦事業所	平成22年5月17日(月)
	延岡支所 土々呂製氷工場	平成22年5月18日(火)
溝口監事	日南支所 日南製氷第一工場	平成22年5月19日(水)
	日南製氷第二工場 南郷事業所	
近藤監事	宮崎事業所 本所(業務・指導・総務)	平成22年5月20日(木)
	本所(総括)	平成22年5月21日(金)

アサヒビール(株)がスタンプラリーをバックアップ

本 年2月から7月末までJF宮崎グループ直営レストラン5店舗(海遊物産館うみすずめ・海の駅ほそしま・魚乃里ぎょれん丸・漁師の味港あおしま・港の駅めいっ)による、スタンプラリーがおこなわれています。スタンプラリーをバックアップする為に、アサヒビール(株)が「飲めば買えちゃう!」キャンペーンとして、レストラン5店舗にてスーパードライ・ポイントゼロを飲まれたお客様に対し、直販所でお買い物ができる金券を発行する企画を5月に開催することとなりました。この企画は、レストランにて旨い魚を食べていただき、帰りに直販所で鮮魚・水産加工品を買っていただくというもので、県内水産物をより身近に感じていただける良い機会になるのではと考えています。





JF宮崎漁連直営店

ぎょれん丸

魚乃里

宮崎県水産物 ブランド品が 食べたい!

【営業時間】
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30
 金～日 AM10:00～PM8:00
【レストラン】
 昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30(昼のみ)
 夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30
 PM 5:00～PM8:30

【問い合わせ】
 〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地
 TEL.0985-28-6114

水産試験場からのお知らせ — 水産試験場 —

平成22年度の水産試験場の新規・重点事業の紹介

水 産試験場の試験研究につきましては、日頃から情報提供や試験操業への御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

水産試験場では、資源部、増殖部、生物利用部の3部が、それぞれ「漁業の効率化と資源の適正管理のために」「豊かな海づくりのために」「水産物の安全性と品質向上のために」をキーワードに試験研究を進めています。

これらの部で22年度に取り組む新規・重点事業の一部につきまして、紹介します。

1. 日向灘海況情報提供システムの開発に関する研究(H22~26:資源部)

現 在の海洋観測手段には種々の制約があり、水温・塩分・流れ等の各情報に時間や場所の偏りがあります。そのため、海況情報として活用するためには相互補完が必要な状態にあり、より活用しやすい海況情報の提供が求められています。そこで、海洋観測網の検討、情報統合技術の開発及び情報提供の運用に関する研究を行い、漁業者・試験研究のニーズに対応する日向灘の海況情報を提供できるシステムを構築していきます。

2. 主要浮魚類の資源生態に関する研究Ⅱ(H21~25:資源部)

こ れまで、イワシ、アジ、サバなど主要浮魚類の資源に関する研究に取り組み、漁況予測の精度向上に貢献してきましたが、現在、太平洋系群の資源状況が大きく変化しつつあり、日向灘における資源生態について更に研究することにより、予測手法の一層の精度向上を図ります。

3. 藻場の生態学的特性の把握と造成技術の確立(H22~24:増殖部)

本 県沿岸では、高水温化傾向などの環境変動により生態系バランスが変異し、海藻と動物の「食べるvs食べられる」バランスが変異し、磯焼けの進行と持続が起こっています。これまでの研究により魚類の食害が起こりにくい条件の発見や、対食害戦略を持つ海藻の発見とあわせて、魚類の行動生態把握技術の向上による有効な魚類対策の見込みが出てきたことから、これらの発見、技術を取り入れた魚類の食害を克服する藻場造成技術の確立を目指します。

4. 漁場環境を浄化・保全する生物の複合型増養技術の開発(H21~24:増殖部)

一 枚貝等のろ過食性生物を増養殖することにより、周辺の水質浄化・保全が期待できますが、単独の増養殖では栄養塩類の回収はおこなえず、底質への環境負荷も懸念されます。そこで、藻類やデトライタス食性生物と複合的に生産することで、栄養塩類の回収や底質改善を図り、漁場環境を浄化・保全しながら行える「環境にやさしい複合型増養殖を実現する技術を開発します。

5. 温暖化等による養殖漁場の環境変動把握と効率的な養殖技術の開発(H22~24:生物利用部)

浅 海海域は温暖化の影響を強く受けることが予測され、県北養殖場では夏季水温が30℃以上に達する事例や水温が短期間に2℃以上急変動するといった現象が観測されています。このような水温変動は養殖魚の生理活性に大きな影響を与え、高水温で発生する魚病被害の増加や赤潮の発生率上昇が危惧されます。そこで、環境変動を把握し、得られたデータを基に水温変動に対応した新たな養殖技術を開発に取り組み、低コスト・省エネ型養殖の実現を目指します。

6. 安全・安心な養殖魚づくりに関する研究(H21~23:生物利用部)

近 年、食の安全安心が重要視されている中、ワクチン使用による疾病発生予防が進んできています。そのような中、被害の多いブリ類の新型レンサ球菌症についても早期のワクチン開発が必要となっており、その開発に取り組むとともに、併せて疾病防除及び漁場改善の観点から殺菌力が高いとされているオゾンナノバブル等を用いた飼育環境改善の技術開発を行います。

7. アジ類の肉質改善のための蓄養マニュアル作成(H20~22:生物利用部)

ま き網漁業で漁獲されるマアジは、蓄養後出荷するケースが増え、品質については一定の評価を受けていますが、そのバラツキをより少なくし、マアジの品質の向上と安定化を図るため、肉質に関する指標の作成、季節毎などの肉質等の把握による最適な蓄養期間の明確化など、肉質改善のための蓄養マニュアル作成に取り組めます。

その他、今回、組織の見直しを行い、今まで増殖部が担当していた漁場環境部門を生物利用部が、生物利用部が担当していた種苗生産部門は増殖部が担当することで効率化を図ることとしております。さらに、水産物加工指導センターをリニューアルし、機器等の充実を図り、より衛生的な施設に生まれ変わりました。加工センターの詳細については、改めてお知らせしますが、今まで以上のご利用をお待ちしております。

水産試験場の研究テーマは、漁業関係者の皆様が困っておられることを技術的に解決することと考えていますので、問題点、疑問点がありましたら、どしどし御意見を頂ければと思います。

FISHERIES EXPERIMENT

平成22年度県関係人事異動

農政企画課

新	旧
高島 俊一 部長	県民政策部次長(県民生活担当)
押川 延夫 次長(農政担当)	児湯農林振興局長

水産政策課

新	旧
担い手流通担当	
蒲原 裕文 主幹	水産政策課副主幹(担い手流通)
団体金融担当	
島井 宏昭 主幹	北諸県農林振興局副主幹(農政推進)
漁業調整担当	
平原 裕之 主査	宮崎県警察本部
田口 智也 主査	水産庁
水産企画担当	
米村 輝一朗 主査	水産試験場 主任研究員
西口 政治 技師	水産政策課
管理担当	
戸高 孝明 主査	企業局
水産会館駐在兼水産試験場	
井手 巧 技師	水産試験場

漁港漁場整備課

新	旧
永野 広 漁港整備対策監	港湾課課長補佐(技術担当)
矢野 透 課長補佐	中部港湾事務所工務課長
計画担当	
大村 英二 主幹	漁港漁場整備課副主幹(計画)
宮本 一隆 技師	新規採用
整備担当	
湯浅 隆規 主査	高岡土木事務所主査
小田 将也 技師	宮崎市
管理担当	
桑山 賢一 主査	総務事務センター主査
振興担当	
上林 大介 技師	東臼杵農林振興局
水産振興協会	
中神 秀一 技師	漁港漁場整備課

水産試験場

新	旧
藤原 一也 副場長兼管理課長	日南保健所次長
管理課	
井上 百合子 主任	統計調査課副主幹(企画分析)
資源部	
中村 充志 主任研究員	水産政策課主査
生物利用部	
永友 聖代 主任研究員	水産試験場主任技師
南 隆之 主任技師	漁港漁場整備課
増殖部	
山田 和也 技師	漁港漁場整備課(宮崎県水産振興協会)
漁業調査取締船みやざき丸	
柳澤 洋平 技師	水産政策課水産会館駐在兼水産試験場技師

(財)宮崎県内水面振興センター

新	旧
小谷 昌志 副参事(宮崎県内水面振興センター)	経営金融課課長補佐

退職者

伊藤 孝利	農政水産部長
原川 忠典	農政水産部次長(農政担当)
細山田 公明	農政水産部副参事(宮崎県内水面振興センター)
斉藤 芳光	水産試験場副場長(総括)兼管理課長
野中 求	水産試験場主幹兼主任
溝口 幸一郎	主任技師(水産試験場)



3月の動き(県関係)

3日	県立高等水産研修所修業式(日南市)
3日	内水面漁場管理委員会(宮崎市)
19日	平成21年度宮崎県養殖安全対策協議会(宮崎市)
23日	漁業経営審査会(宮崎市)
24日	平成21年度漁業担い手確保・育成対策推進協議会(宮崎市)
26日	太平洋広域漁業調整委員会(宮崎市)
30日	海区漁業調整委員会(宮崎市)

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会役員会

平 成22年3月1日に漁連会議室において役員会を開催した。

事務局より平成21年度事業報告及び収支決算の報告を行ったのち、監査報告及び平成22年度の事業計画及び収支予算書(案)についての説明を行った。平成22年度は漁青連50周年を迎えることから、記念大会を開催すること、親善球技大会は県央(宮崎市)で開催すること等を総会に諮ることを決定した。



旋網組合総会

宮 崎県旋網漁業組合(組合長 森本徳喜)は、3月3日、延岡ロイヤルホテルにおいて平成22年度通常総会を開催した。

協議事項として、

1. 平成21年度事業報告及び収支決算書の承認について
2. 平成22年度事業計画及び収支予算書(案)の承認について
3. 平成22年度賦課金の額及び徴収方法の決定(案)について

を審議し、原案どおり承認決定した。

3月の動き

1日	漁青連役員会	11日	県かつ協役員会
1~2日	在庫監査	16日	宮崎県漁政対策委員会第8回委員会 佐多対空射場事前協議
3日	県旋網組合通常総会	29日	宮崎県小型底曳漁業者協議会
4日	第3回カツオ資源問題検討会	29日	宮崎県延縄漁業者協議会
5日	安全衛生委員会	31日	県かつ協総会

忘れてませんか? あなたの命を守る大切なもの。

救命衣、着用していますか?

宮崎県漁業就業省健康育成センター 宮崎県漁業協同組合連合会

資材の購入は系統へ

漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

